

# ヨシでびわ湖を守る ネットワーク通信

17

VOL.



## びわ湖環境ビジネスメッセ2013

※※ ヨシでびわ湖を守るネットワークの展示風景 ※※

10月24日から26日の3日間、長浜ドームでびわ湖環境ビジネスメッセが開催されました。ヨシでびわ湖を守るネットワークもココヨ工業滋賀ブース内で展示を行い多くのメンバーさまにご来店いただきました。

今年で5年目となるネットワークは、現在96社さまのご賛同をいただいております。おかげさまでヨシ刈りボランティアを中心とした活動は定着してきており、多くのみなさまに環境体験の場を提供させていただいております。

これからも、一歩ずつ着実に、この活動の輪を広げて行ければと考えております。皆さまのご支援を宜しくお願い致します。

### びわ湖を知る ■ 問題

びわ湖は世界で3番目に古い古代湖と言われています。では世界で一番古い湖はどこでしょう。

- ①チチカ湖
- ②タンガニーカ湖
- ③バイカル湖
- ④ビクトリア湖

# 特集 1ページ

滋賀県立琵琶湖博物館 統括学芸員  
松田 征也 様より

## 琵琶湖のボテジャコ



### 【ボテジャコってどんな魚？】

ボテジャコという魚をご存じですか？魚類図鑑で検索してもすぐにはでてこないかもしれません。それはボテジャコという名前は、コイ科タナゴ亜科の魚たちを総称する滋賀県の地方名だからです。ボテジャコと呼ばれる魚には、イチモンジタナゴ、シロヒレタビラ、カネヒラ、ヤリタナゴ、アブラボテ、そして外来種のタイリクバラタナゴの6種類があります。ボテジャコはボテとも呼ばれ、大きな種類でも全長12cmほどしかなく、苦み強いことから食用にされることはあまりありません。そのため、知っている人は少ないかもしれませんが、滋賀県出身の花登筐さんの小説「ぼてじゃこ物語」で知名度をあげたこともある魚です。



『イチモンジタナゴ』



『シロヒレタビラ』



『カネヒラ』



『ヤリタナゴ』



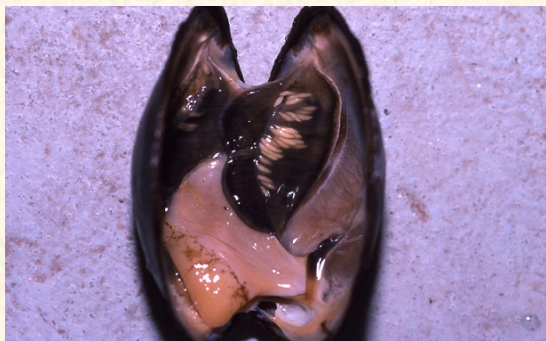
『アブラボテ』



『タイリクバラタナゴ』

### 【貝に卵を産む魚】

ボテジャコの産卵生態は少し変わっていて、生きている二枚貝の体内に卵を産みつけます。二枚貝なら何でも良いということもなく、イシガイ科の二枚貝に産卵します。二枚貝に卵を産むといっても簡単ではありません。雌は産卵期になると産卵管と呼ばれる長い管を総排泄口のあたりから伸ばし、産卵管を二枚貝の出水管に差し込んで卵を産み込みます。この時、二枚貝が閉じて産卵管を挟まれてしまうものもあります。卵の産み込みが終わると、雄はすかさず入水管付近に放精して二枚貝の体内で受精させます。秋に産卵するカネヒラを除き、春から夏にかけて産卵するボテジャコの卵は、



『貝の中に産み付けられたボテジャコの卵』

# 特集 2ページ

水温にもよりますが受精後3日ほどでふ化します。しかし、ふ化したばかりの仔魚は未熟で、その後も3週間ほど貝の体内に留まり成長します。秋に産卵するカネヒラはというと、貝の中で越冬して翌春に貝の中から出てきます。ポテジャコが二枚貝に卵を産むようになった経過は明らかではありませんが、硬い貝殻に守られた二枚貝の体内にいれば、他の魚たちに食べられることもなく生き残る確率が高くなると考えられます。

## 【昔は雑魚、今は絶滅危惧種】

今から30年ほど前、琵琶湖にはたくさんのポテジャコがいました。水産的価値がない魚ですから、漁獲統計で生息数の増減をみることもできません。そのため、研究者の記録や、ポテジャコを捕った過去の記憶に頼るしかない状況です。年配の方に聞くと、ポテジャコはモロコ釣りの外道で、エサを横取りされないように釣れると陸上に掘り投げていたと言います。筆者の記憶でも、大津市打出浜にあった琵琶湖文化館の水族館では、夕方エサの時間が近づくと、毎日、投網でポテジャコやモツゴなどの小魚を捕まえて、ナマズやウナギに与えていました。ところが、昭和49年に琵琶湖で最初にみつかったオオクチバス(ブラックバス)が、琵琶湖文化館周辺でも昭和59年頃から急激に増加してしまい、それと反比例するようにポテジャコは姿を消してしまいました。この他、水路や河川、湖岸などの工事で二枚貝が少なくなったこともポテジャコの減少理由と考えられます。環境省が発表しているレッドリスト(日本の絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト)によれば外来種のタイリクバラタナゴを除き、5種類中4種類ものポテジャコがレッドリスト入りするなど、絶滅の危機に瀕しているのです。



『二枚貝に産卵するポテジャコ』



『湖岸の岸辺に群れるカネヒラの稚魚』

## 【ポテジャコを増やすには？】

ポテジャコを琵琶湖で増やすことは、現状では難しいと考えられます。その理由はオオクチバスなど魚食性の魚がいることです。以前に比べれば減っていますが、まだまだ多いのです。しかし、なにもしなければ絶滅するかもしれません。そこで現在取り組んでいるのが、本来の生息地以外のところで保全する生息域外保全です。水族館や動物園の水槽や池、学校や企業、市民グループのビオトープ池など、容易に野外にでていけないところで飼育・繁殖をしています。また最近では一歩進めて、滋賀県内に点在するため池で、ポテジャコが生息できる条件であれば、放流することも検討しています。しかし、この取り組みには課題があります。その一つは、淡水魚は同じ種類でも、地域固有の遺伝子を持った個体群があり、異なる遺伝子を持った個体を放流してしまうと、遺伝子の攪乱を引き起こす危険性があるのです。実際、イチモンジタナゴの遺伝子を調べてみると、琵琶湖水系のものとの他の地域のものでは、異なる遺伝子を持っている場合があります。最近では少なくなった魚を安易に放流してしまう事例もありますが、引き起こした攪乱を元に戻すことはできません。魚の放流は慎重に行うべきだと考えています。

琵琶湖にポテジャコが戻るということは、二枚貝が生息できる環境も戻るということで、二枚貝のエサとなる微生物なども生息できるということです。また、ポテジャコは植物もよく食べますから、生態系のさまざまな生きものたちとの関係が再構築されることにつながります。昔のような琵琶湖に戻ることは難しいとしても、多くの生物たちが共存できる琵琶湖になるのではないのでしょうか。

# ネットワーク 広場

積水樹脂(株)様 より

## 積水樹脂グループにおける 「生物多様性の保全」への取り組み

積水樹脂グループは、「生物多様性」の恩恵を未来につなげるために、  
「生物多様性の保全」と「持続可能な利用」に積極的に取り組んでいます。

当社は、環境省とともに「国連生物多様性の10年日本委員会」に2010年度より  
継続して支援しています。この継続的な支援活動に対して、感謝状を頂きました。



### 生物多様性の保全への取り組み

#### ●森林保全活動

植林や間伐、下草刈りなどの活動を、継続して実施しています。

滋賀県(日野町)

石川県(能美市)

長野県(辰野町)



活動実績

- ・2010年11月20日
- ・2011年11月23日
- ・2012年10月13日
- ・2013年10月19日



活動実績

- ・2013年3月16日
- ・2013年10月19日



活動実績

- ・2011年9月18日
- ・2012年6月2日
- ・2013年6月8日



「琵琶湖森林づくりパートナー協定」



「企業の森づくり推進事業」



「森林の里親促進事業」

#### ●水質保全活動

「ヨシでびわ湖を守るネットワーク」のメンバーとして、琵琶湖のヨシ刈り活動を開始しました。



滋賀県近江八幡市(西の湖)

活動実績

- ・2012年2月10日
- 刈りとったヨシの一部は古紙などと合わせて、ヨシペーパーなどに活用されています。

### 工場における「自然保護」への取り組み(滋賀県竜王町)

工場敷地内に人の立入を制限した自然保護エリアを設置し、貴重な生き物や植物を守っています。



ハッチョウトンボ  
体長約2cmの  
日本最小のトンボ



ニホンアカガエル  
「要注目種」



イシモチソウ  
「分布上重要種」



トウカイコモウセンゴケ  
「分布上重要種」



コヒロハハナヤスリ  
「希少種」

# ネットワーク交流会

## 11月30日工場見学・交流会を開催しました。



コクヨ工業滋賀の概況やネットワークのこれまでの取組をお伝えしました。



場内見学のようす



交流会最期に記念撮影・・・にこやかな笑顔で！



環境への取組の紹介




皆さん、名刺交換とご歓談に集中！

### ※※ 皆さまからのお便り ※※

- ・ヨシ刈りでは、なかなかゆっくり話すことができませんから有意義な場を設けていただき有難うございました。定期的な開催賛成です。
- ・交流会に参加させて頂き、人と人との繋がりのすばらしさを実感しました。
- ・皆さんとてもいい顔をされていて、とてもよい集まりだったことが写真からも感じられます。
- ・発足当初に比べ段々と賛同社が増えていく過程はとても感動しました。
- ・交流会ではすべての方と名刺交換ができ、ヨシ刈りに皆さまと会えるのが楽しみになりました。
- ・ネットワーク会員の方々が気軽に話をして頂き、あっという間に楽しい時間が過ぎてしまいました。

これからも、楽しみながら環境意識を高められる魅力ある場を考えて行きます・・・事務局より



びわ湖を知る ■ 解答 

### ③ バイカル湖

ロシアにあるバイカル湖は約3000万年の歴史を持つと言われていす。

# みんなの リエデン

コクヨ工業滋賀  
設立25周年記念

おかげさまで、

「コクヨ工業滋賀」という

名前になってから25年。

年間1億冊以上のノートを作る

紙製品工場に成長しました。

事業に関わっていただいた全ての方々

そしてこの恵まれた滋賀の自然に

感謝を表して作りました。



## 近江の麻 伝統

びわ湖と愛知川がもたらす湿潤な空気の中で、400年以上も前から育まれた伝統産業、近江の麻織物。

## 環境 琵琶湖の葦

活用するほどにヨシ群落が活性化され、琵琶湖の貴重な生態系保全につながる葦。

### 新商品 麻とヨシのノート

本体価格：800円

サイズ：A5(206×148mm)

罫線：7.5mm横罫線

枚数：80枚

製本：無線綴じ

数量限定

好評発売中

取扱店情報はこちら→ <http://reeden.shiga-saku.net/e989792.html>

### 皆さんは「地域のもの」を選んでますか？

REEDEN

10月に出席した「びわ湖環境ビジネスメッセ2013」で、この「麻とヨシのノート」のご紹介とっしょにアンケート調査を行いました。結果、地域の特産品やご当地ものとされる文具や雑貨に93%の方が興味があることが分かりました。購入目的は「自分で使用するため」が54%、「プレゼントとして」が34%という結果になりました。ある30代の男性は「特産品は地域に貢献している実感があるため」との回答をいただきました。私は主に贈答品として購入しており「ぱっとしない滋賀ですが、実はええもんありますねん」とこっそりアピールしています。しかも同じ滋賀の方に「これ知らんやろな」と思いながら渡すのがとても気持ちいいです。こんな曲がった地元愛ですが、渡す人も、受け取る人も、様々な喜びを分かち合えるものを作れたらと思っています。（ReEDENの住人より）